

令和5年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

福祉

| | | | |
|------------------|--|--------|--|
| 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|------------------|--|--------|--|

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから3ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）では、教科「福祉」の目標について、次のように示されている。後の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

福祉の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の（ア）に基づく地域福祉の推進と持続可能な（イ）の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・（ウ）的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようとする。
- (2) 福祉に関する（エ）を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな（オ）を育み、よりよい社会の構築を目指して（カ）学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(1) 次の①、②の設間に答えよ。

- ① 文中の空欄（ア）～（カ）に適する語句を答えよ。
- ② 下線部のような態度を養うために、どのような学習活動が考えられるか。2つ例を挙げよ。

(2) 福祉科の9科目のうち、学習指導要領の改訂に伴い名称が変更された科目について、改訂後の名称を答えよ。

2 社会福祉について、次の(1)～(6)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 19世紀末の日本において、宗教者や篤志家によって行われた慈善事業として設立された施設のうち、代表的な施設名とその設立者を答えよ。
- (2) 1874年に日本で最初に制定された公的な救済制度名を答えよ。
- (3) 19世紀後半のイギリスでは、大学関係者らが、都市部の貧困地域に住み込んで実態調査を行うと共に、教育や生活上の援助を行うようになった。この活動のことを何というか、答えよ。
- (4) 1973年に日本政府が行った福祉政策を1つ挙げよ。
- (5) 社会保障制度の3つの機能を答えよ。
- (6) 介護保険制度の第1号被保険者と、第2号被保険者の対象者をそれぞれ答えよ。

3 介護福祉について、次の(1)～(8)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 「バリアフリー」とは何か説明せよ。
- (2) 「ユニバーサルデザイン」とは何か説明せよ。
- (3) 高齢者虐待の5つの区分を答えよ。
- (4) 「レスパイトケア」とは何か説明せよ。
- (5) 「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」とは何か説明せよ。
- (6) 「ハイシリッヒの法則」とは何か説明せよ。
- (7) 「日和見感染」とは何か説明せよ。
- (8) 感染症における「標準予防策（スタンダード・プロコーション）」の具体的な内容を2つ答えよ。

4 こころとからだのしくみについて、次の(1)～(8)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 「ユマニチュード」の4つの柱を答えよ。
- (2) 加齢によるもの忘れと、認知症によるもの忘れの違いを「忘れ方」と「進行」の観点から説明せよ。
- (3) 「ヤングケアラー」について説明せよ。
- (4) 生活不活発病（廃用症候群）について、原因は何か説明せよ。また、症状例を2つ挙げよ。
- (5) インスリンを分泌する器官及びインスリンの作用を答えよ。
- (6) 2007年、日本整形外科学会によって提唱された概念で、「運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態」のことを何というか、答えよ。
- (7) 障害のある人のストレングスを活用した援助を行うことによって、本人が自らの課題に気づき、主体的に解決策を見いだしていく支援方法のことを何というか、答えよ。
- (8) 科目「こころとからだの理解」の指導項目「発達と老化の理解」「認知症の理解」「障害の理解」の内容を取り扱う際には、どのようなことに配慮して指導を行うことが大切であるか、答えよ。

5 生活支援について、次の(1)～(7)の設問に答えなさい。

(1) 次の①、②の洗濯表示記号の意味を答えよ。

①



②



(2) 「ヒートショック」について説明せよ。また、ヒートショックを防ぐために行うことを行なうことを書け。

(3) 食事場面における、誤嚥予防のための椅座位の姿勢を具体的に説明せよ。

(4) 次の文は、1993年制定の「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律（福祉用具法）」の一部である。文中の空欄（①）～（③）に適する語句を答えよ。

第二条

この法律において「福祉用具」とは、心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人又は心身障害者の日常生活上の（①）を図るための用具及びこれらの者の（②）のための用具並びに（③）をいう。

(5) 次の①、②の福祉用具の名称を答えよ。

①

②

(6) 医療倫理の4原則を答えよ。

(7) 左片麻痺の利用者に対する、ベッドからの起き上がり（仰臥位→側臥位→端座位）の基本的な介助方法について、ボディメカニクスの原則を踏まえながら、具体的に説明せよ。なお、ベッド柵はないものとする。

6 「介護を必要とする人の理解と介護」を効果的に指導するための、ICT機器を活用した学習活動の例を挙げなさい。

| | | | | | |
|---------|-------|------|--|----|--|
| 福祉 解答用紙 | 2枚中の1 | 受験番号 | | 氏名 | |
|---------|-------|------|--|----|--|

(5年)

1

| | | | | | | |
|----------|---|--|---|--|---|--|
| (1) ① | ア | | イ | | ウ | |
| | エ | | オ | | カ | |
| ② | | | | | | |
| (2) | | | | | | |

2

| | | | | |
|-----|-------------|--|-------------|--|
| (1) | 施設名 | | 設立者 | |
| (2) | | | | |
| (3) | | | | |
| (4) | | | | |
| (5) | | | | |
| (6) | 第1号 被保険者 | | 第2号 被保険者 | |

3

| | | | |
|-----|--|--|--|
| (1) | | | |
| (2) | | | |
| (3) | | | |
| (4) | | | |
| (5) | | | |
| (6) | | | |
| (7) | | | |
| (8) | | | |

| | | | | |
|---------|-------|------|----|------|
| 福祉 解答用紙 | 2枚中の2 | 受験番号 | 氏名 | (5年) |
|---------|-------|------|----|------|

4

| | | | |
|-----|------|----|-----|
| (1) | | | |
| (2) | | | |
| (3) | | | |
| (4) | 原因 | | |
| | 症状例 | | |
| (5) | 分泌器官 | 作用 | |
| (6) | | | (7) |
| (8) | | | |

5

| | | | | | | |
|-----|----|---|----|----|---|----|
| (1) | ① | | | ② | | |
| (2) | | | | | | |
| (3) | | | | | | |
| (4) | ① | ② | | | ③ | |
| (5) | ① | | | ② | | |
| (6) | 原則 | | 原則 | 原則 | | 原則 |
| (7) | | | | | | |

6

| |
|--|
| |
|--|

以下はあくまでも解答の一例です。

| | | | | | | | |
|---------|-------|------|--|----|--|--|------|
| 福祉 解答用紙 | 2枚中の1 | 受験番号 | | 氏名 | | | (5年) |
|---------|-------|------|--|----|--|--|------|

1

| | | | | | | | |
|-----|---|--------|---|----------|---|--------|--|
| (1) | ア | 尊厳 (3) | イ | 福祉社会 (3) | ウ | 系統 (3) | |
| ① | エ | 課題 (3) | オ | 人間性 (3) | カ | 自ら (3) | |
| ② | (例) 他者との討論により課題の解決策の考案などを行う学習活動。他者の考えに耳を傾け、対立する意見であってもそれを踏まえながら自己の考えを整理して伝える学習活動。 | | | | | | |
| ② | 地域を学びのフィールドとして、様々な職業や年代の地域住民などとつながりをもちながら信頼関係を構築し、協働して課題の解決などに取り組む学習活動。職業資格の取得やコンテストへの挑戦などを通じて自ら学ぶ意欲を高める学習活動など。 | | | | | | |
| (2) | (6) | | | | | | |
| (2) | 福祉情報 (2) | | | | | | |

2

| | | | | | | |
|-----|---|-------------|---------|-----------|--------------------|-----|
| (1) | 施設名 | (例) 岡山孤児院など | 設立者 | (例) 石井 十次 | (4) | |
| (2) | 恤救規則 | (3) | | | | |
| (3) | セツルメント運動 | (3) | | | | |
| (4) | (例) 老人医療費の無料化、年金水準の5万円への改善、物価スライド制の導入、健康保険の家族給付率の改善 | | | | (3) | |
| (5) | 生活安定・向上機能 | (3) | 所得再分配機能 | (3) | 経済安定機能 | (3) |
| (6) | 第1号被保険者 | 65歳以上の者 | (3) | 第2号被保険者 | 40歳以上65歳未満の医療保険加入者 | (3) |

3

| | | | | | | | |
|-----|---|-----|--|-----|-------|-----|-----|
| (1) | 主に高齢者や障害者が安全で住みやすい社会をめざし、バリアとなるものを取り除くこと。 | | | | | (3) | |
| (2) | 高齢者や障害者に限定することなく、すべての人にとって暮らしやすい、使いやすいデザインのこと。 | | | | | (3) | |
| (3) | 身体的虐待 | (3) | 介護・世話の放棄・放任 | (3) | 心理的虐待 | (3) | |
| | 経済的虐待 | (3) | 性的虐待 | (3) | | | |
| (4) | 家族介護者の負担軽減をはかり、休息をとれるようにする支援のこと。 | | | | | | (3) |
| (5) | 終末期にある本人の意思を尊重するため、意思決定能力が低下した時に備え、今後の生活、治療、ケアについて話し合うプロセスのこと。 | | | | | | (3) |
| (6) | 同一の人間が330の事故を起こした時、ひとつの重大な事故と29の軽傷事故、そして300の傷害のない事故が発生し、これらの事故の背景には、数千を超える不安全行動や不安全状態があるという法則のこと。 | | | | | | (3) |
| (7) | 健康な状態では発症しない病原体によって、宿主の抵抗力が低下した時に引き起こされる感染症のこと。 | | | | | | (3) |
| (8) | 排泄物、嘔吐物に触れた後は、流水での手洗い、アルコール消毒を行う。 | (3) | 排泄物や嘔吐物が飛び散る危険が予測されるときは、ガウンやマスク等を使用する。 | (3) | | | |

| | | | | | |
|---------|-------|------|--|----|--|
| 福祉 解答用紙 | 2枚中の2 | 受験番号 | | 氏名 | |
|---------|-------|------|--|----|--|

（5年）

4

| | | | | |
|-----|---|--|----------------------|-------------|
| (1) | 見つめる (3) | 話しかける (3) | ふれる (3) | 立つ (3) |
| (2) | 加齢によるもの忘れは体験の一部を忘れ、進行しないのに対し、認知症によるもの忘れは近時記憶障害が目立ち、体験の全体を忘れ、進行するという違いがある。 (6) | | | |
| (3) | 大人が担うような介護や責任を引き受け、家族の世話をしている18歳未満の子どものこと。 (4) | | | |
| (4) | 原因 | 日常生活の中での活動量が低下したり、安静状態が長期にわたって続いたりすることによる。 (3) | | |
| | 症状例 | 関節拘縮、筋痙攣用萎縮 (2) | 褥瘡、うつ傾向、心肺機能低下など (2) | |
| (5) | 分泌器官 | 胰臍（ランゲルハンス島） (2) | 作用 | 血糖値を下げる (3) |
| (6) | ロコモティブシンドローム (3) | (7) | エンパワメント・アプローチ (3) | |
| (8) | サービス利用者と家族も含めた周囲の環境を総合的に捉え、保健医療職など多職種と連携しながら、サービス利用者や家族の心身の状況や環境を考えた介護福祉サービスの提供に主体的かつ、協働的に取り組む態度を育成できるように指導を行うこと。 (4) | | | |

5

| | | | | |
|-----|-------------|---|-----------|--------------------|
| (1) | ① | 塩素系及び酸素系漂白剤の使用が可能である。 (3) | ② | 日陰のつり干しがよい。 (3) |
| (2) | | 温度の急激な変化により、血圧が大きく変動することなどによって起こる健康被害のこと。予防策としては浴室と脱衣所の温度差を少なくすることなどがある。 (6) | | |
| (3) | | 深く腰掛け、足底を床につける。あごを軽く引く。 (6) | | |
| (4) | ① | 便宜 (2) | ② | 機能訓練 (2) ③ 補装具 (2) |
| (5) | ① | ロフストランド杖（クラッチ） (3) | ② | 歩行器 (3) |
| (6) | 自律尊重 原則 (3) | 無危害 原則 (3) | 善行 原則 (3) | 正義 原則 (3) |
| (7) | | 利用者の両腕を上腹部で組み、顔を右側に向け、両膝を立てる。介護者の重心を利用者に近づけ、利用者の左膝と左肩に手を置き、利用者の両膝を手前に倒しながら回転させ、右側臥位の姿勢にする。その後、両膝下をマットレスから下ろし、利用者の右手をからだから少し離し、右肘をマットレスにつける。利用者の頸部から介護者の左手を背中側にまわし、頸部を左肘関節で支え、左手で左肩峰を押さえる。介護者の足は左右に開き、右足を右側に向か、腰をしっかりと落とす。右手で利用者の骨盤をマットレス側に押しながら、左手で利用者の頭部を半円を描くようにしながら起き上がる。 (15) | | |

6

（例）高齢者施設の利用者の映像を見せて、課題をあげ、その解決に向けた取り組みについて、グループで話し合う。この時にJamboardを使い、様々な意見を出させ、自らが気づかなかつた点についても他者と共有する。 (6)